

市議会だより

ふたば



CONTENTS

- p3 市長の主な施政方針
- p4~5 予算特別委員会(委員会代表質問)
- p6~7 **特集** 高校生がみた市議会
- p8 請願・人事
- p9~11 市政を問う(一般質問)
- p14~15 意見交換会(地域の課題)

令和元年
6月1日

平成31年
3月議会号 No. 57



写真提供 浮羽究真館高校ラグビー部

より開かれた議会を目指して！



新たな学びの場 7月オープン

補正予算

可決
賛成13名
反対0名

3月定例会では、一般会計1億5831万7千円を減額する補正予算が提案され、各常任委員会へ付託による審査の結果、全会一致で原案どおり可決されました。なお、主な議論は次のとおりです。

- ◆生涯学習センター(るり色ふるさと館)建設工事の工期延長に係る工事費(市長の専決事項)の追加及び教育センター、学校教育課、吉井コミュニティセンター移転時期。
 - ◆平成29年度、二度の入札不調による幼児連携型認定こども園遊林愛児園保育棟・多目的棟新築工事。
 - ◆その他、小学校空調設備設置工事費の不足追加など。
- 補正予算をふまえ、新年度の予算特別委員会、特に5年目をむかえる「地方創生」事業の進展に、議会として慎重に審議を行いました。

※詳細は4・5ページをご覧ください。

主存議案

可決
賛成13名
反対0名

- 3月議会(平成31年第1回定例会)
会期 3月1日(3月20日) 20日間
【上程された議案】
議案 42件
陳情第1号 1件
- ◆平成30年度一般会計・特別会計補正予算
- ◆平成31年度一般会計・特別会計予算
- ◆うきは6次産業化研究開発・事業化支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について
- ◆小石原ダムに係る水源地域対策費の負担に関する協定の締結について

2019年 5月1日改元
新元号



市長の主な施政方針

予算編成方針に示した重点課題

【遊休施設等や街なみ環境を生かした定住促進対策】
【新学習指導要領等に対応した教育施設の推進】
【歴史的資源の掘り起こしと包括的活用】
以上、取り組みを進めていきます。

【子育て世代が安心して生活できる取り組みの強化】



【人生100年時代を見据えた新たな生涯現役社会づくり】
【社会で生き生きと働く女性の就労、経営支援】
【地域活動の拠点施設であるコミュニティセンターの自立促進】
以上、充実、周知に努めます。

【自治協議会を中心とした介護予防・生活支援の充実】



【既存資源を生かしたブランド化の推進】
【農業政策の充実と関係機関との連携促進】
【災害に強いまちづくり事業の推進】
【次世代に負担をまわさない財政運営の健全化】
以上、推進していきます。

進めてきた大きな事業



【久留米・うきは工業団地】
若い方々の転出抑止、地域の更なる振興につながるよう努めます。

【るり色ふるさと館開館】
◇市民の皆さまから末永く親しまれ、幅広く利用していただく施設にしていきます。
◇年齢に関係なく新しい知識やスキルを学び直せることができる環境、それを担う施設にしていきます。

【6次産業化研究開発・事業化支援センター】
収益性の向上と、うきは市の農業の更なる活性化を進めます。



【子ども行政の集約化】
◇乳幼児期から青少年期まで、一貫した支援体制の強化を図ります。
◇子育て世代が安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進します。



【妹川小学校御幸小学校へ統合】
転校を余儀なくされた児童のよりよい学校生活支援を継続します。

間、新年度「予算特別委員会」が開催されました。委員長に江藤副議長が指名され、開会冒頭、市長の「施
任委員会及び厚生文教常任委員会の所管事項に関し、各委員長による代表質問が行われました。

質 問



総務産業 中野委員長

◇ 人口減少対策について

- Q**
- ① 久留米・うきは工業団地に「資生堂」が進出。移住・定住に向けての対策は？
 - ② 人口対策の先進地である宮崎県三股町の「子育てにやさしいまち」など参考にした新たな取り組みが必要ではないか？

- A**
- ① 「資生堂」とは立地協定後、相互協力を確認しており、市の遊休地活用など移住・定住の推進に努めます。
 - ② 今後とも「子育てするならうきは市で」と評価される取り組みを進めます。

◇ 農林業の振興について

- Q**
- ① 農業は高齢化・後継者不足等、特に山間地の農地保全是益々困難。その対策は？
 - ② 森林は環境の源である。健全な森林育成、その考えは？

- A**
- ① 農業は喫緊の課題と認識しています。特に中山間地は担い手不足に加え、鳥獣被害など深刻な状況にあります。若者の就農支援とともに中山間地の生産基盤整備による労力軽減、生産向上に努めていきます。
 - ② 持続可能な森林の経営は、国際社会で共通の認識。主に担い手育成への支援に努めていきます。

※ その他のテーマとして、「地域コミュニティセンターの自立促進について」及び新年度に開設が予定されている「6次産業化研究開発・事業化支援センターの運営について」議論が交わされました。



久留米・うきは工業団地に進出する企業「資生堂」のイメージ画像
進出する「資生堂」は、1,000人の地元雇用が見込まれており、うきは市にとっても人口減少対策など市域経済にもたらす波及効果について久留米市と連携しながら、市議会も一丸となって従業員の居住や生活環境のほか、うきは市の魅力を展開する好機として、あらゆる振興策を図っていきます。しかし、その一方で農業をはじめ地場産業では、若者はもとより人材の確保が懸念されています。

新年度予算の「主な論点」

- ◇ 可決成立した「新年度予算」審査における主な論点は
- ◇ 久留米・うきは工業団地に進出する企業「資生堂」による振興対策
- ◇ 「地方創生」事業（うきは振興「映画製作」、外貨を稼ぐ「街並み再生」、うきはテロワール等の促進事業）
- ◇ うきは農業・林業振興対策（特に姫治地区における山村振興対策）
- ◇ うきは市から朝倉ICへ福岡都市圏と結ぶ「路線バス試行」事業
- ◇ 自治協議会の現状における支援対策（人材確保等）
- ◇ 高齢者福祉、子育て支援「地域包括的支援」事業
- ◇ 児童虐待・いじめ防止等社会問題対策

「予算特別委員会（一般会計）」

3月11日～14日の4日
政方針」に対する総務産業常

代表

新年度（平成～令和）施政方針（市長）

急激に進行する「少子高齢化・人口減少」

身の丈にあった「うきは市」の行財政運営を、確実に実行！

一般会計予算総額 151億6千万円

（前年度比 12億6千万円減少）



厚生文教 佐藤委員長

◇ 自治会を中心とした介護予防・生活支援の充実について

- Q ① 地域包括ケアシステム構築への課題、及び全市的な取り組み方針は？
- ② 「我が事丸ごと」地域づくり推進の取り組みと、その課題は？

- A ① 自治協を中心に、高齢者のみならず少子高齢・人口減少社会を、心豊かにすべての市民が生きがいを共に創り高めあう地域共生社会の実現に向けた仕組みづくりを推進することです。
- ② 社協と協力して、住民が安心して住み続けられる地域づくりをめざした「福祉小座談会」の開催を増やし、各行政区に「福祉会」の設置を呼びかけていきます。

◇ 子育て世代が安心して生活できる取り組み強化について

- Q ○ 子育て世代包括支援センター設置における各機関との連携及び支援体制は？

- A ○ 今年10月に開設し、学校教育・保健所・病院や児童福祉関係機関と連携を図ります。

※ その他のテーマとして、子どもたちがたくましく生きる力を養う教育の場「コミュニティ・スクール」事業の推進について、議論が交わされました。

6次産業化支援センター「うきは振興」

施設・設備等予算総額（1億5500万円）

今年7月、アリーナの東側（千足保育所跡地）に建設中の「6次産業化研究開発・事業化支援センター」がオープンします。

この施設は、農業者の所得増大を推進するなど地域産業の振興を図るため、うきは特産のフルーツや農産物を活用した加工品等の研究・開発により事業化に向けた支援を目的としています。

具体的には、地域農産物よりもより、これまで廃棄していた果実等を持ち込み、アドバイザー指導のもとで最新の設備や器具等を活用するなど、売れる商品を開発・販売して、お土産など観光資源として外貨を稼ぐ「地方創生」事業として期待されています。

また、施設の使用は、許可により市内外（市外は有料）の団体・個人を問わず誰でも活用でき、施設の運営管理は選定事業者に委託される予定です。



完成した6次産業化支援センター

市議会

浮羽究真館高校生議会傍聴!



生徒会の議会傍聴

感想文 2年生

うきは市議会への一般質問の傍聴会に参加させて頂ける機会は、昨年もあり、今回2度目でしたが、新しい発見もあり、貴重な体験ができたと思います。

特に、うきは市への移住者・定住者を増やすためのまちづくりに対する支援について、うきは市に住むことで運転免許取得を無償にすることや、ネットを通じた仕事改革、情報を広める

ためのハンドブックが心に残りました。

また、人口だけでなく農業の担い手も減少して来ている今だからこそ、実行すべき対策や支援に力を入れて欲しいと思いました。

私たちがお世話になってきた保育所・小学校・中学校に関する予算や整備についても話していることに驚きました。

また、若者が住みやす



ラグビー部「歓喜」

いまちづくりについて、私も浮羽町に住んでいるので、これから先うきは市が学生や労働者、子育てをする人にとって、暮らしやすいまちになると良いなと思いました。

感想文 2年生

初めてのうきは市議会の傍聴に参加させていただき、ありがとうございます。

4番議員の質問から傍聴させていただきまして、その中で、うきは市における移住・定住対策について、どのような対策をしたら住みたくなってもらえるのか、住んで良かったと思える町にしていくのか、という所では、東京での説明会を年に2回

ほど計画し実施されているのは、多くの人にうきは市を知ってもらいたい機会だと思っています。

うきは市が福岡県下で一番安全な町だということは傍聴して初めて知ったので、住民に知らせていくことが大事だということがわかりました。

農業面では朝倉光陽高校との接点を持たせる計画があるということもわかりました。

5番議員の質問内容で、うきは市では少人数の学力向上の結果がでていくこともわかりました。休憩中の質問で、一人の議員が話すのに、質問と回答の時間も含め、60分という決まりがあること、議員の方の席に置



うきはを知る「1年生稲荷神社散策」

感想文 1年生

いてある辞書のような物の名称も学ぶことができました。ありがとうございました。

減多に見学することが出来ない「うきは市議会」の本場の様子をじっくり見る、聞く事で、学んだり知ったりが出来ました。

議員一人ひとりが一時間の「質問事項・質問の

請願



「パークゴルフ場建設に関する請願」

【請願者】

御幸地区自治協議会
会長 佐藤 春義
妹川地区自治協議会
会長 國武 輝興
(紹介者) 伊藤 善康
 鐘水 英一
 佐藤 茂和

12月からの継続審査分は、全会一致で採択されました。

本請願の趣旨は、高齢者の健康づくり・交流の場として、藤波ダム公園にパークゴルフ場を造成して欲しいというものです。

昨年12月定例議会にて総務産業常任委員会に付託され審査を続けてきました。

現地は、平成29年の九州北部豪雨により被災し

た朝倉市の土砂を仮置きしており、未だに土砂撤去の見通しが立たない面があるものの、他の自治体でも行われている、補助金を活用した整備事例などについても検討を重ね、すでに設置されている筑後川温泉パークゴルフ場と同等の支援が望ましいとの認識から全会一致で採択となりました。

人事案件



教育委員会委員

任期

令和元年5月24日から

令和5年5月23日

委員 古賀 公彦
 こが きみひこ



【平成30年度 うきは市への訪問議員団】

No.	月日	議会名	人数	調査事項
1	5/10	石川県加賀市議会	8	地域おこし協力隊及び移住・定住対策について
2	5/10	北海道余市町議会	7	食育推進条例、食育推進計画について
3	5/17	長崎県長崎市議会	1	地域経済分析システムRESASについて
4	5/17	福岡県久留米市議会	13	観光振興について
5	5/22	徳島県阿南市議会	11	防災を兼ねた道の駅について
6	6/5	群馬県太田市議会	4	道の駅うきはについて
7	7/12	愛知県豊橋市議会	7	道の駅うきはについて
8	7/26	栃木県議会	16	地域資源や人材を活かした地方創生の取り組みについて
9	8/2	島根県浜田市議会	10	地域経済分析システムRESASについて
10	8/29	兵庫県姫路市議会	6	道の駅うきはについて
11	10/24	山口県柳井市議会	7	地域資源を活かした観光の振興について
12	11/5	京都府福知山市議会	4	小規模特認校制度（小塩小学校）について
13	11/6	京都府議会	14	道の駅を核とした観光地域づくりについて
14	11/7	愛知県蒲郡市議会	8	道の駅うきはを拠点としたまちづくりについて
15	11/13	鹿児島県出水市議会	7	特産品について
16	1/24	兵庫県朝来市議会	11	うきはの里株式会社の取り組みについて
17	2/6	滋賀県米原市議会	5	道の駅を核としたつくり手を豊かにする観光地域マネジメントについて
計		17議会	139	

長野橋を五庄屋偉業のモニュメント橋として後世に繋いで



うえの きょうこ
上野 恭子 議員

関係団体の総意が整えば(市長)

上野 五庄屋偉業は小学校社会科野外教育の場として活用され知恵と工夫の農業水路と思うが、国県の河川工事で橋が架け変わるため、朱塗りのモニュメント橋とし地方創生の二助にしたらと思うが。

市長 国交省の河川整備による改修計画で地元関係各団体の合意形成が必要で、整えば国や県へご相談させて頂きます。

●●合瀬耳納トンネル開通記念は

上野 昨年開通した合瀬耳納トンネル記念として、八女市との共通課題で目的特化型の広域連携ふるさと納税を始めたらと思うが。

市長 八女市との交流促進や地域資源を結び魅力ある観光交流プランが求められており、フルーティーランド広域観光推進協議会で協議検討してまいりたいと考えます。

●●コンビニ証明交付について

上野 国の施策マイナンバーによる印鑑証明や住民票のコンビニ交付

システムができており、今後必要になると思うが対応は。

市長 カードを持っていけばコンビニで証明書の写しが取れますが、システム導入費やランニングコストが高く、近隣市の導入や利用状況を見ながら検討します。

●●障がい者の命の見守りについて

上野 耳や目が不自由な方の緊急時インフラ整備は十分でないが。

市長 緊急通報サスケやテレビ電話を高齢者や障がい者に設置推進し社会参加促進を進めます。



筑後川から取水の大石堰

6次産業化支援センターの今後の計画について



さとう ひろのぶ
佐藤 裕宣 議員

農業者等の所得向上を目指して 研究開発を推進します(市長)

佐藤 事業成功のための十分な検討はなされたのか。

市長 施設は農業者や商工業者が自らのアイデアを生かして農産物等の付加価値を高める加工品の研究開発を行い、ブランド化を図ろうとするものです。そのため施設内に充実した機材等を整備し、品質管理については連携協定を締結している中村学園大学の協力を頂きながら進めていきます。

佐藤 開発のための技術指導は。

市長 技術的な指導を受けるといふのは非常に重要なことだと思います。技術的なアドバイザーについては、しつかり検討していきたいと思っています。

●●地域包括ケアシステム構築について

佐藤 現状と課題について、どう認識しているか。

市長 生活支援体制の整備、医療と介護の連携については、体制が整いつつあると考えています。課

題は、介護保険財政をいかに抑制していけるかだと考えています。

佐藤 運営主体である自治協の体制に課題があるのではないか。

保健課長 いかに関域で互助の仕組みを作り上げていくかが重要であると思っています。そのためには住民の皆様の積極的な社会参加、地域での仕組みづくりへの参加が必要になってまいりますので、市としてもそのあたりを積極的に進めているところです。



6次産業化支援センター

「ふるさと名物応援宣言」

今後の成果は



やりみず えいいち
鍵水 英一 議員

地域ブランドの強化を図って

まいりたいと考えております(市長)



鍵水 フランスと連携したときはテロワール事業の進捗状況、また関連する市の農業の現状は。

市長 フランスのブドウ生産農家さんと技術指導や、苗の輸入について連携していくことで調整を進めておりましたが、検疫により土が持ち込めないことから、協議が一旦中止をしています。

また、市内において、ワイン用のブドウを栽培されている農家さんが存在することがわかり、この農

家さんと企業が連携し、ワイン醸造所を併設、宿泊設備を備えたレストランの計画が進んでいます。

鍵水 市長が推進しているスイーツを通じ、産業や観光を盛り上げる目的として、条例制定の考えは。

市長 現在、考えはありませんが、今の啓蒙普及活動の取り組みの中で、条例化が大きな効果があると判断したときは考えます。

● 適正な基準にあった入札・契約 ● 制度の執行は

鍵水 設計に関して入札条件に最低制限価格の設定がなく、また受注工事がある場合、契約工期まで次の工事の請負はできないとの趣旨についての検討は。

副市長 設計した事務所が施行監督を一緒にあわせて行い、監督を含め現場、品質、写真管理全てをやっている、それに対する職員の指導はちゃんとやっております。

市長 公平で競争力のある入札制度を確保しています。

子どもへの虐待

いじめについて



たけなが しげみ
竹永 茂美 議員

うきは市内の児童・生徒に対する

虐待の報告数は4件です(教育長)

竹永 子どもの虐待、いじめ、校内暴力の実態と対応について。

教育長 1月末のいじめは小学校6件、中学校7件ですがいじめも解消しています。校内暴力は小学校0件、中学校5件(軽微)です。

市長 対応については、新年度予算で教育相談員1名分を計上しています。

● 2019年度学校の条件整備は

竹永 『地方創生(ルネッサンス)計画』にある、「中学校40人学級を30人学級にして、市負担で教員を11名増員させる。それにより移住者が増える。」とあるが進捗状況は。

教育長 福富小の1学年と2年生、御幸小1年生にうきは市独自の「30人学級」を配置予定です。

● 2019年度通学路安全確保の ● 予算措置は

教育長 2017年の会議で、吉井小2ヶ所、千年小5ヶ所、福富小2ヶ所、江南小7ヶ所、御幸小

市長 毎年、各小学校から通学路の危険箇所の報告を受けておりますので、推進会議でしっかりと対応させていただきたいと思っております。



通学路のカラー舗装はいつ完了するのか？

自治協に 「地域おこし協力隊」配置を



えとう よしみつ
江藤 芳光 議員

具体的なご指摘を受け止め、

内部でしっかりと議論します(市長)

江藤 「地方創生」の基盤は自治協にあるが、その現状は仕事が押し寄せ、このままでは会長・事務局長ともなり手がなくなるのではないのか。

市長 自治協の皆さんにはお骨折りをいただいています。「地域おこし協力隊」の配属など、具体的なご指摘もいただきましたので、自治協のあり方をしっかりと議論させていただきます。

●●● 外国人労働者の受け入れ対応

江藤 4月から「改正入管法」が施行されるが、うきは市内における在留資格者の現状と、今後における具体的な受け入れ対応等を伺う。

市長 現在、在住外国人は254人で、今後は農商工業で不足する労働力を補うため、外国人の増加が予想されており、課題は次のとおりです。

①安心して働ける環境づくり



「技術を習得して、国に帰ろう!」
ベトナム技能実習生(浮羽町高見(株)マルカ木材)

市長 うきは市が、観光で外貨を稼ぐ多様な宿泊施設は、喫緊の課題であると認識しています。

●●● 外貨を稼ぐ観光戦略

江藤 提案していた、外貨を稼ぐ吉井町の伝統建造物群地区への宿泊滞在型のホテル誘致はどうなったのか。

- ② 日本語教育など情報の伝達方法
- ③ 地域との良好なコミュニケーション
- ④ 中期的には家族帯同の対応等

市の人口推移を どう捉えているか

2040年には30%以上減少か?(市長)



いわぶち かずあき
岩淵 和明 議員

2040年には30%以上減少か?(市長)

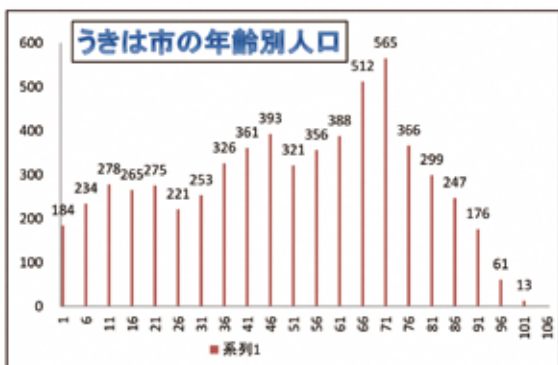
岩淵 出生数の減少についてどのように考え、課題があるのか。

市長 年度毎の波はあっても、今後は緩やかに減少と思われ、出産適齢期の男女の転出を少しでも食い止め、住み続けることができる魅力あるまちづくりを行い、出生数の向上につながるよう施策の充実に図って行きたいと考えます。

岩淵 2016年12月から2年間で822人減少し、1位60歳64歳217人減、2位65歳69歳194人減、3位25歳29歳147人減、活動的な方々が減少している実態をどうみるのか。

市長 地域経済分析システムで20代前後の世代が福岡市・大阪・東京に出ているケースと、40・50代の方が久留米市を中心に出ている現実はつかんでおり、市内事業者の人手不足とマッチングするように力を入れていきます。

岩淵 ルネッサンス戦略の人口ビジョンに係る意識調査で「理想の子どもを持つための環境整備は何か」



0歳から5歳単位集計 2010年12月末現在 住基台帳を基に独自作成

の設問に、保育料引下げ、高校まで医療費無料化、学校教育費の引下げ、奨学金の要望等が多いと理解できるが、どの程度実施できたか。
市長 社会減を少しでも食い止めるため、安定的な雇用の場確保と農業所得改善のテロワール啓蒙普及を市民・市外に訴え、自然減は大きな課題で、任意予防接種・乳幼児視力検査等、他の自治体に無い複合的な施策を行っています。

総務産業常任委員会

◆人口増加への取り組みに関する調査

調査日

平成31年

1月30日～31日

調査要旨

うきは市において、合併時3万4千人余りあった人口が、平成30年11月末では3万人を切りました。この人口減少する中において、人口が増加している自治体の状況を調査しました。

宮崎県三股町

三股町は都城市に隣接する町で、昭和27年から毎年のように小規模の公営住宅を建設し、平成6年に「都城地方拠点都市地域基本計画」で居住拠点地区の指定を受け、更に「住みよいまち」構想を推進し、地価・建築費用が安価であること



で、都城市のベッドタウンとして発展を続け、人口増加をしています。

熊本県菊陽町

菊陽町は熊本市に隣接する白川中流域の平坦地です。昭和46年「熊本都市計画区域」に含まれたのを機に、仕事も居住もできる「生活都市」として発展してきました。また、平成以降、県や町で工業団地を整備し、

誘致に成功、併せて住宅団地を整備したことで、人口増加に繋がっています。

所見

宮崎県三股町、熊本県菊陽町、両町とも働く場所の確保並びに居住地の確保と併せ、「住みよいまちづくり」として、独自の「子育て支援事業」を積極的にを行い、人口減少対策に対応していました。

◆振興作物（アーモンド）の栽培等に関する調査

調査日

平成31年

1月30日

調査要旨

宮崎県三股町では、振興作物としてアーモンドの栽培を行っています。うきは市においても荒廃農地対策として導入できないか調査



アーモンド畑 現地視察

を行いました。

調査結果

アーモンドは、定期的な剪定や病害虫防除は不要ですが、商品化するためにはまだまだ課題が多いと言われました。

所見

栽培は容易ですが、今後うきは市で振興作物として推進していくのか、更なる調査・検討が必要であると思われました。

議会運営委員会

調査日

調査先

平成31年2月8日
大分県別府市議会
大分市議会

調査要旨

議会が担う役割の重要性、議会に対する関心の低下や議員のなり手不足等の課題が指摘される中、議会改革や政策立案・提言に結びつく政策研究会や若年層の政治意識を喚起する意見交換会等の取組を先進地に学び、議会活動の活性化につなげる目的です。

別府市議会

【政策研究会】

「議会は、市政に関する重要な政策及び課題研究のため政策研究会を設置することができ」と議会基本条例に規定しており、研究会で政策課題を決定し、調査研究により積極的に市長に提言等を行っています。

【市民と議会との対話集会】

議会の説明責任と開

大分市議会

【政策研究会】

議員から政策課題を募集し、提出議員によるプレゼンテーションを受けて選定し、推進チームにより、市長への提言や条例等を提案しています。

【市民との意見交換集会】

また、市民の生活に直結している事業など、議会が選定した事務事業について評価を行っています。

厚生文教常任委員会

◆研修視察レポート

調査日

平成31年

1月15日～16日

調査要旨

うきは市では、地域包括ケアシステムの構築、子育て世代包括支援センターの設置が求められる中、先進的に取り組んでいる自治体の状況を調査しました。

山口県周南市

「もやいネット

センター」の設置

高齢者のみならず、子ども・障がい者・生活困窮者などを包括的に支援する福祉の相談窓口として「もやいネットセンター」を設置し、市役所開庁時間以外は民間業者周南マリモに委託したことで、365日24時間の相談対応を行って



周南市「もやいネットセンター」

います。

また、31の自治協会ごとに「地区ステーション」が設置され、社会福祉協議会から雇用された地域福祉コーディネーターを36名配置し、課題の早期発見はもとより、相談者個々のニーズにあった

支援が適切に提供されています。

滋賀県米原市

活動拠点「元氣ステーション」

子育て世代包括支援センターが市の施設である「げんきステーション」に設置され、センターには助産師1名、保育士2名の専門員が常駐し、妊娠・出産から子育てに関するあらゆる相談に対応し

ています。

また、12名在籍する市の保健師も当番で勤務しています。

センター発足以降は、毎月1回開催される「子育て世代包括支援センター会議」において、関係機関の連携を深め、情報共有を図りながら、切れ目のない支援につなげています。

所見

全国的に少子高齢化が進む中で、うきは市においても福祉・子育て施策は最重要課題だと考えます。

7月から学校教育部門が西別館へ移動する予定ですが、それを機に、関係所管のさらなる連携により、現状の支援の再点検を行い、より充実した支援に向けて、意識改革を行うことが求められています。

かれた議会を目的に各地区で開催しています。また、選挙権が18歳になったことから、市内中学校との対話集会を始めました。

議会基本条例に基づき、広く市民の皆さんから意見を聴くため開催しています。また、高校生・大学生などの意見交換会を、政治意識を喚起する目的で開催しています。



市議会との研修

所見

議員のプレゼンテーションを受けながら、市民のニーズがあるのか、コストに見合った効果が期待できるのか等を基準に審査しながら、政策課題を絞り込み、調査研究、自由討議等を重ね、市長への提言や条例制定につなげていく仕組みを学ぶことができました。

意見をいただきました

市民の皆さまのご意見をお伺いするため、「地域の身近な課題」をテーマに1月から2月までの間、10会場において開催いたしました。

貴重なご意見いただき、ありがとうございました。

各班ごとに、いただいたご意見を抜粋して報告します。

※重要な課題については、行政との実現に向けた協議により、広報でお知らせします。



(江南地区意見交換会)

【1班】

○中野義信 伊藤善康
上野恭子 鐘水英一
竹永茂美 佐藤裕宣

御幸地区

◆地域包括ケアシステム

・地域任せでなく、市

江南地区

◆地域包括ケアシステム

について

・高齢者や障がい者の
コミュニケーション
が取れる場を！

◆農業後継者不足と高齢化

・市民の意見を市議会
から国・県へ！

・市町村議会で連携
し、種子法復活の県
条例化を！

新川地区

◆廃校の活用について

・自然豊かな地であ
り、合宿施設、林間

として地域福祉の方
向性を明確に！

◆インフラ整備

・藤波ダム公園にパー
クゴルフ場を！
・中千足交差点の改良
及び国道210号の
歩道の設置を！

田籠地区

◆過疎化対策（地域振興

対策）について

・出生補助金等の少子
化対策を！

・うきは市独自の子育
て対策を！

・女子尾線の橋の修理
を！

・中学生もスクールバ
ス利用を！
・積極的な有害鳥獣対
策を！

・注連原の上流の護岸
復旧を！

学校、老人ホームな
どの施設はどうか！

◆野生鳥獣被害対策につ

いて

・ジビエ料理で収益が
上がるようなシステ
ムを！
・イノシシだけでなく
シカ対策も！

吉井地区

◆児童の通学について

・グリーンベルトの整
備を！

・19、20区のパス通学
費の補助を！

◆少子高齢化対策について

・具体的な若者減少対
策を！

・自治協議会交付金の
格差是正を！

【参加人員】

月 日	対象地区	会 場	男	女	合計
1月24日	御幸地区	御幸コミュニティセンター	48	13	61
2月 5日	江南地区	江南コミュニティセンター	25	6	31
2月 6日	新川地区	新川コミュニティセンター	14	7	21
2月16日	田籠地区	田籠コミュニティセンター	16	4	20
2月22日	吉井地区	生涯学習センター	9	5	14

市民皆さんから多くの

市民と議会の意見交換会



(福富地区意見交換会)

【2班】

○佐藤湛陽 江藤芳光
 岩淵和明 熊懐和明
 野鶴 修 組坂公明

福富地区

◆老朽化ため池改修について
 ・地元負担なしで、危

険性の高いところから改修を！

・ため池の必要性の観点からも検討を！

◆農地転用について

・後継者不足、高齢化の中、荒廃地の山林転用を！

小塩地区

◆過疎化と農業問題

・姫治全体で営農組合をつくっては！

・耕作放棄地の山林転用を！

・市営住宅の入居要件緩和を！

・基盤整備した半面、家を建てる用地確保が必要である！

千年地区

◆スポーツアイランドの利用改善について

・自治協行事をもう少し優先を！

・急な段階の改善を！

◆空き家・放棄地の対策について

・台風災害時の危険な状態の空き家対策を！

・区で草を刈っている放棄地対策を！

大石地区

◆上水道事業計画について

・地下水はきれいなのに、上水道にしなければならぬのか！

・若い人にもアンケートを取るべきでは！

◆筑後川堤防の拡幅延長について

・三春工業団地から下の川の道路拡張を進めていただきたい！

妹川地区

◆山間地で生き抜くための諸問題について

・学校跡地に高齢者預かり施設を！

・中山間地の農業問題、市、JAと議会

◆有害鳥獣対策の強化について

・市で箱わなを準備しレンタルしては！

・学校の下の県道でイノシシと車の事故が多発している。対策を！

【参加人員】

月 日	対象地区	会 場	男	女	合計
1月24日	福富地区	福富コミュニティセンター	29	2	31
2月 4日	小塩地区	小塩コミュニティセンター	17	2	19
2月 8日	千年地区	千年コミュニティセンター	65	11	76
2月22日	大石地区	大石コミュニティセンター	18	8	26
2月25日	妹川地区	妹川コミュニティセンター	15	1	16



大石「古川町」周辺の全景(航空写真)

「うきは」パノラマ

大石地区「かわまちづくり」

350余年前、「五人の庄屋」が命を賭して築いた「大石・長野水道」の取水口が、この「大石堰」です。その恩恵は、吉井町江南地区を中心に75町歩の灌漑を潤し、今なお広大な穀倉地帯の営みを脈々と受け継いでいます。

今から50年ほど前、初夏になると激流の堰堤をアユが群れをなして遡上する風景が見られました。子供のころ、浅瀬に水しぶきを上げて飛び交うアユを、篠竹でたたきながら追いかけ、遊びと猟が一石二鳥だったあの喜びが、今も忘れられない。

風物や環境を犠牲にして豊かさを求めた時代の責任として、筑後川にアユを甦らせる「ふるさと創生」戦略を、国・県、さらには筑後川の恩恵に浴する福岡都市圏と流域が共同して取り組むべきだと考えてきました。

そして今、大石地区では、悠久の流れ「筑後川」が織りなす自然の造形が育んだ民土と歴史・文化など、豊かな地域資源を活かし、国土交通省が推進する「にぎわい・かわまちづくり」を官民一体となって進めています。

「うきは」未来への論戦！ 議会を傍聴しませんか。

- ◇6月議会は
6月14日(金)開催予定
- ◇一般質問は
6月17日(月)18日(火)
の2日間の予定です。



「お詫び」と「訂正」

前号の議会日より(56号)に誤った記載があり、お詫びして訂正させていただきます。

◇「表紙」ページ表示

正 補正予算

誤 補正予算・請願・陳情

◇私有財産の譲渡(3ページ)

正 「3分の2」減額

誤 「3分の2」に減額

◇「一般質問」熊懷議員

タイトル(8ページ)

正 「袋野のため池は大変危険な状況になっているが」

誤 「袋野のため池は」

編集後記



新たな時代へ

新たな元号は「令和」となった。

英訳すれば「ビューティフル・ハーモニー」と呼ぶそうだが、わずかに二文字なれど我が国の新たな時代に冠する象徴として国民の期待は大きい。

しかし現実には、少子高齢化がもたらす人口減少等により、若者にとどまらず労働力(人手)の確保など危機的な状況下において、「改正入管法」が施行され、これからは身近に外国人が増えつつける。

令和は「人々が美しく心を寄せ合う中で、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように」とある。さて、どんな時代を思い描けばいいのだろうか…？

(委員長)

発行責任者

議長 櫛川 正男

広報広聴委員会

委員長 江藤 芳光
副委員長 鎌水 英一
委員 野鶴 修
佐藤 裕宣
組坂 公明
佐藤 茂和

議会事務局

TEL 75-4990
FAX 75-3342